桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2020
No.169

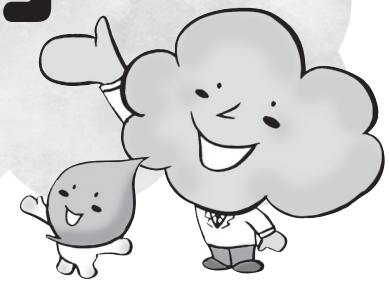
令和元年8月18日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・FAX65-4555
メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ http://www.keisen-shakyo.or.jp



イラスト：新 未佳
印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888

住民同士の助け合い「たすけあい桂川」ってなんだろう？



どんな団体なの？

「たすけあい桂川」は、地域住民の互助の力によって、
日常生活にある「困りごと」の解消をお手伝いする団体です。



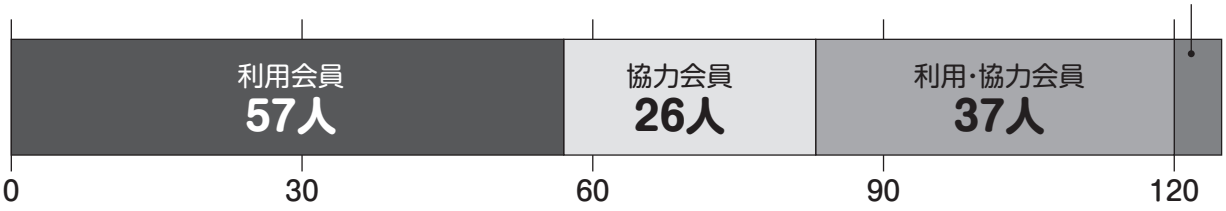
何をしているの？（前年度の実績）

話し相手（202件）	掃除（174件）	簡単な草取り（43件）	買い物（47件）
見守り（31件）	薬取り（13件）	日曜大工（15件）	家具の移動（2件）
通院の付添い（6件）	入院等のお手伝い（3件）	PC操作（2件）	調理（11件）
電球交換（2件）	その他（45件）		

件数の合計 596件

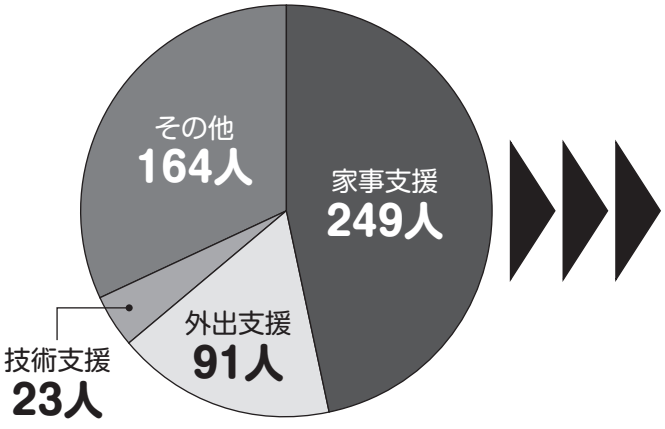
グラフでみる「たすけあい桂川」

会員数



総会員数:123人　令和2年3月末時点のデータ

支援内容（協力会員延べ人数）



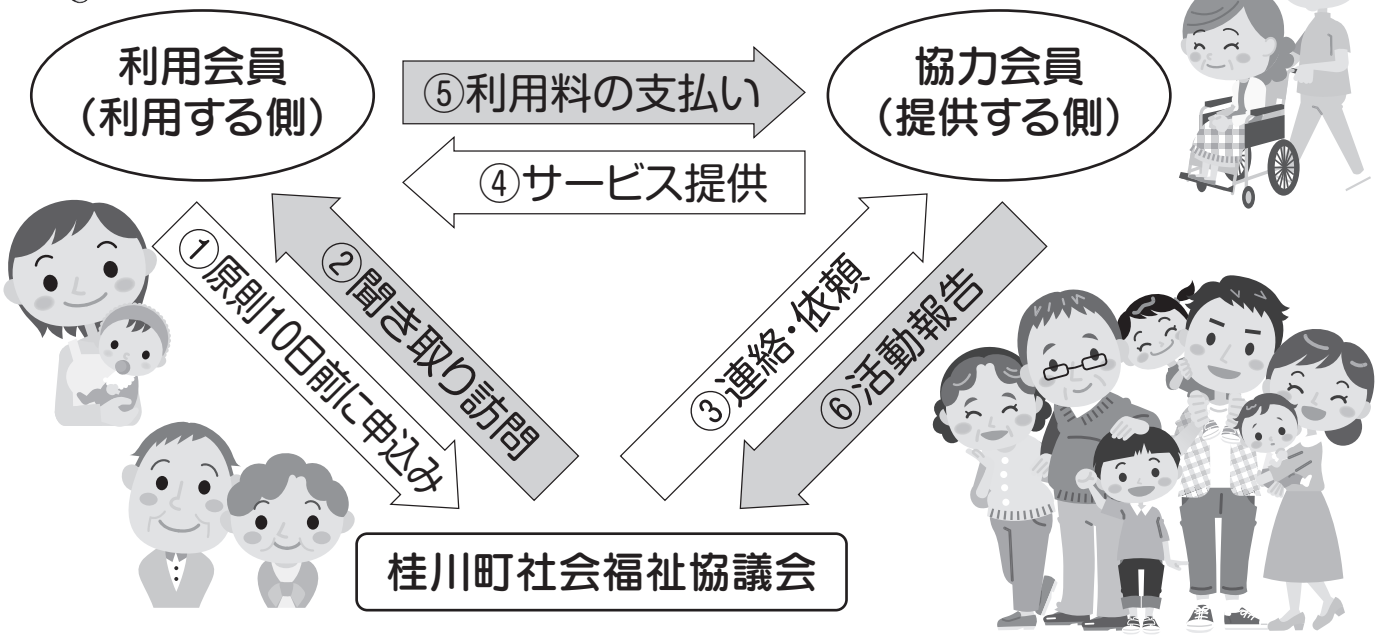
「家事支援」が全体の47%、
30%を占めている「その他」の内容は、見守り、話し相手、簡単な草取り、家具の移動、裁縫等



会員のみなさんの声

- エプロンを付けて活動する姿は天使のようで心温まる。
- 介護保険を利用する状態まではないが、年を重ねるにつれ、今までできていたことが出来なくなってきた。チョットしたことが頼めるのでありがたい。
- 交流会や講習会などに参加させてもらい、勉強になっている。
- 協力会員が来ることを楽しみにされており、たくさんお話をされる。
- 自分に何ができるか分からないが、人の役に立てたらと思い会員になっている。
- 依頼があった時は、心地よい緊張感と充実感を味わうことができ、生活にハリができている。自身の健康づくりにもつながっていることを感じる。
- 交流会やバスハイクを楽しみにしている。
- たすけあい桂川は、家族として非常に心強い存在になっている。

サービスのながれ



会費と利用料はいくら?

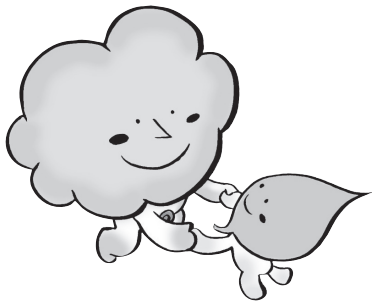
【会費】 利用会員・協力会員：1,000円/年　**【利用料】** 300円/30分
賛助会員：1口1,000円　ゴミ出し：200円/回

協力会員を募集します!

「たすけあい桂川」では、会員（特に協力会員）を大募集しています。協力会員のみなさんへお願いする支援は2ページ目のグラフの通り、「家事支援」と「その他」が大半を占めています。

具体的な内容は、掃除・洗濯・調理・見守り・話し相手・簡単な草取りです。普段、ご家庭でやっていることが、困りごとの解決につながります。

新役員紹介



桂川町社会福祉協議会は、町内の各種団体と組織から推薦された10名の理事・2名の監事、23名の評議員で運営しています。今回、理事および評議員に変更がありましたので、お知らせいたします。

旧			新		
氏　名	選出母体	行政区	氏　名	選出母体	行政区
理　事（変更）					
江藤　栄次	学識経験　行政	土居一	川野　寛明	学識経験　行政	土居一
評議員（変更）					
吉岡　眞達	区長会	二反田	瀬川　敏夫	区長会	二反田
川野　寛明	学識経験　行政	土居一	伊藤　昇平	学識経験　行政	土居一

令和元年度 決算報告

（令和2年3月31日現在）

令和元年度の決算について、5月26日・27日に監査を受け、6月4日の理事会（決議の省略）、25日の評議員会で承認されました。事業の収支を報告いたします。

●収入財源の内訳

（単位：%）

会費	寄附金	県補助金	町助成金	県受託金	事業収入	共同募金	学童	雑収入	その他
1.61	1.36	0.03	30.24	0.26	0.92	2.55	49.30	0.03	13.70

●事業活動・その他の活動による収支

（単位：円）

経理区分	収　入	支　出
法人運営事業	29,884,021	29,633,235
地域福祉活動事業	14,018,809	14,018,809
生活福祉資金貸付事業	260,664	260,664
献血推進事業	331,000	331,000
共同募金配分金事業	2,823,674	2,823,674
部会事業	158,000	158,000
子育て支援事業	65,000	65,000
学童保育所事業	46,219,199	46,219,199
合計	93,760,367	93,509,581
当期資金収支差額合計		250,786
前期末支払資金残高		**1,043,148**
当期末支払資金残高		**1,293,934**

●財産目録

（単位：円）

資産の部	資産の内訳	金　額
流動資産	現金	52,952
	普通預金	6,275,205
	当座預金	1,197,760
	事業未収金	630,506
	未収金	10,940,540
	立替金	1,587,375
	仮払金	12,000
固定資産	基本財産	1,000,000
	その他の固定資産	42,007,985
	福祉事業積立預金	3,197,965
資　産　合　計		**66,902,288**
負債の部	**負債の内訳**	**金　額**
流動負債	事業未払金	7,105,321
	その他未払い金	10,929,647
	預り金	8,829
固定資産	職員預り金	1,165,007
	前受金	193,600
固定負債	引当金（退職金）	17,659,910
負　債　合　計		**37,062,314**
純　資　産　合　計		**29,839,974**
負債及び純資産の合計		**66,902,288**

令和2年度 ～いたわりの この手が 福祉の町づくり～

賛助会費のお願い

社協とは？

桂川町社会福祉協議会は、社会福祉法に基づいて設立された公共性の高い民間の団体です。

当社協は、区長会・民生児童委員協議会・福祉部・当事者団体・ボランティア団体・町内の福祉施設などと協力・連携をはかり地域福祉の推進に取り組んでいます。

賛助会費とは？

桂川町社会福祉協議会の活動に賛同していただける住民の方に、地域福祉事業の活動にご支援いただくものです。当社協が進める事業の財源は、皆様からの賛助会費・共同募金・寄付金と町からの補助金・受託金などです。賛助会費は、地域福祉活動を進めていく上で、重要な財源です。ご協力よろしくお願いします。

令和元年度 賛助会費実績額

1,505,300円

令和元年度は、皆さまのご理解とご協力により、多くの賛助会費を集めることができました。
役職員一同、
深く感謝申し上げます。
※賛助会費は、
社協収入財源の
1.61%です。

共同募金配分金事業
99,516円(6.6%)
◎ひとりぐらし高齢者等
給食サービス事業など

子育て支援事業
65,000円(4.3%)
◎トライアングル活動助成金
◎リフレッシュ事業

団体活動助成事業
255,000円(16.9%)
◎衛生組合連合会
◎老人クラブ連合会
◎手をつなぐ育成会
◎障害者関係連絡会

地域福祉活動事業
776,484円
(51.6%)
◎福祉部活動事業の推進
◎地域福祉講演会
◎レクリエーション・ボランティア
「クリップの会」派遣
◎サロン「ほっとスペース」
◎終活セミナーなど

法人運営事業
309,300円(20.6%)
◎ホームページ運営費
◎運営事務費など

令和2年度賛助会費のお願い

賛助会費制となり40年目となります。令和元年度は、皆様のご理解・ご協力により、**1,505,300円**集まりました。この賛助会費は、地域福祉事業の活動に役立てられています。

令和2年度も、『**誰もが安心して暮らせる地域づくり**』を推進するために、福祉のまちづくりに役立てていきますので、ご協力お願いいたします。

隣組長さんへのお願い

お忙しい中、大変ご迷惑をお掛けしますが、隣組長は指定の封筒にお取りまとめの上、**9月30日(水)**までに区長へお渡しいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

1口500円



賛助会費でこんなことやってます



民生児童委員協議会は、桂川町社会福祉協議会との共催により、昭和60年10月にスタートした給食サービス事業。ひとりぐらし高齢者など、特に安否確認を必要とする方を対象として、旬の食材を取りいれた手作り弁当をご自宅まで届けています。

開始から35年目となるこの事業は、民生児童委員の徹底した食中毒予防と配達する方々の念入りな対応により、無事故で継続してきました。しかし、新型コロナウイルスの感染が全国各地で確認され、給食サービス事業を実施するには3密(密閉・密集・密接)を回避できないことから、7月末現在事業を中止しています。感染が終息し、利用者の皆さまへお弁当を届けることのできる日が来ることを待ち望んでいます。

土居一区民生児童委員　川波 五月

介護老人保健施設
さくら園
嘉穂郡桂川町大字土居877
☎0948-65-5550・FAX0948-65-5595

七夕



7月に入り、利用者様と職員が一緒に星飾りや吹き流しを作り、七夕の飾り付けを行いました。

短冊には思いを込めて願い事を書いてもらいました。「元気に歩けるようになりたい」「家族が健康でありますように」「コロナウイルスが早く終息しますように」「世界平和」など皆さんの願いはそれぞれ…。

そして私たちは、「皆さんがずっと楽しく過ごしてもらえますように」と書きました。

七夕当日は、七夕メニューとして天の川をイメージし、おかずやデザートを星にしてみました。

その後、七夕の歌を一緒に歌い、昔の七夕の思い出話を聞かせてもらったり楽しい時間を過ごせました。残念ながら、当日は避難勧告が出る程の豪雨、天の川は見えませんでした。でも、皆さんの笑顔の中にキラキラとした星が溢れ、小さな天の川が出来ていました。

支援相談員　古藤 妥



特別養護老人ホーム
薫風の苑
嘉穂郡桂川町大字吉隈13-96
☎0948-65-4141・FAX0948-65-4169

手作りおやつ

平成22年9月16日ユニット型特別養護老人ホーム薫風の苑（1ユニット10名×2＝定員20名）開設後、平成26年4月1日から制度改正により地域密着型へと移行することになりました。入苑できるのは桂川町内の方に限るのですが、制度改正前から在苑されている町外からの3名の方だけは経過措置としてそのまま生活を続けてあります。

当苑では入苑者の皆様と一緒に献立を考え、材料の買物に行き、各ユニットにある調理設備や



器具を使い、お好み焼きや焼きそばを作ったりする家庭的な雰囲気を大切にしております。現在は、コロナウイルスの関係で一緒に買い物に行くことができません。そのため、ユニット食は中止となっております。コロナウイルスが終息すれば一緒に買い物に行けるようになりますので、ユニット食の再開を計画しております。

また、コロナウイルス感染予防として職員は朝、出勤前に検温を行い、苑内に入る時は手指消毒、マスクの着用を行っています。さらに外来者に対して苑玄関内に非接触型体温計にて体温を測って苑内にコロナウイルスを持ち込まない様に十分に注意しております。

苑内は安全区域と考え、入苑者の皆様はマスクの着用を行っておりません。これからも職員一同入苑者様の思いを受け止め、住み慣れた地域で自分らしい生活の継続が出来ますよう取り組んでまいります。

生活相談員　粟根 信治



※「ユニット型」：居間などの共用スペースを備えた全室個室の新しい介護施設。少人数の家庭的な雰囲気の中で、専属のスタッフが入居者一人ひとりの個性や生活リズムに沿って支援

お知らせ

今年も終活セミナーを開催しました

毎年恒例となっている「終活セミナー」を今年度も開催することができました。

今年度のセミナーには約120人にご参加いただき、今年も大盛況でセミナーを締めくくることができました。

今年度は終活だけでなく、介護保険制度に関する話もあり、とても充実した内容になりました。「終活」に暗いイメージをもっておられた方も先生のお話を聞くなかで「やってみよう」「家族と話してみよう」と終活を前向きに捉えていらっしゃいました。

今回のセミナーを通して「終活」について、もっと詳しく知りたいというご要望にお応えすべく、終活相談会を実施しておりますので、ご興味のある方は桂川町社会福祉協議会までお問合せください。





リフレッシュ事業

お子様をお預かりしている間、日頃できなかった事に、ゆっくり時間を使ってみませんか？買物へ、ランチへ・・・。

貴方だけの時間を楽しむお手伝いをいたします。

日　程　8/19、9/16、10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17（すべて水曜日）
時　間　10時30分～13時30分
場　所　いきいきセンター桂寿苑
定　員　5名
料　金　1回100円/人（おやつ代含む）
対　象　桂川町在住の方
締　切　実施日の1週間前（余裕があれば当日受付可能）
持参物　お弁当、飲み物、着替え、その他必要な物
託　児　子育て支援wa-wa



ありがとうございます

地域貢献の一環として、飯塚自動車整備工業会（塚本　順会長）様から飯塚市社協・嘉麻市社協・桂川町社協の3社協に、マスク計5,000枚を寄贈いただきました。5月18日（月）に飯塚市社協で贈呈式が行われ、各社協から高齢者・障害者施設や学童保育所などに届けられました。マスク入手困難である時期の寄贈で、受け取った方々から大変喜ばれました。



また、リユースショップECOGOD（エコゴッド）様から、文具類や日用雑貨などの物品を寄付していただきました。今後開催される社協や関連団体との共催事業での、ゲームや参加賞、また生活困窮者支援において、活用させていただきます。

令和2年度「福祉のつどい～ひまわりフェスタ2020～」の中止について

9月27日（日）に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたので、お知らせします。

ありがとうございました

令和2年5月1日～令和2年7月31日

香典返し寄付金

◉**土居一**
大田　章博様（故父　正義様）
◉**瀬戸**
橋本タズ子様（故夫　幸男様）
◉**寿命**
古藤　七枝様（故夫　弘美様）
◉**九郎丸**
竝木　比呂志・也寸志様（故母　ヱイ子様）
岡村美智代様（故夫　昭彦様）
◉**土師五**
藤川　祝子様（故夫　秀光様）

一般寄付金

◉**笹尾二**
村田　広樹様（故義母　惣﨑チフミ様）
◉**桂ケ丘**
川原美智子様（故夫誠一郎様）
◉**吉隈一**
小林ベティ和恵様（退職お礼）
◉**土師一**
大塚　益子様（給付金の一部）
◉**県立修猷館11回生**

寄付金合計 262，000円



お願い

厚生労働省のマスク 集めています

厚生労働省医政局経済課（マスク等物資対策班）から、1世帯につき2枚配布される通称『アベノマスク』は、皆様のご自宅に届きましたか？

社協では、いろいろな相談の面接においてマスクを持参していない方や会議開催時に持参するのを忘れた方へ、マスクをお渡ししています。また、学童保育所の運営では、支援員にマスクの着用を義務付け、子ども達が3密（密閉・密集・密接）にならないよう見守りをしながら、保護者が安心して働ける環境づくりを心がけています。

厚生労働省から配布のマスクや不必要のマスクがご自宅にございましたら、回収ボックスを社協窓口に設置しておりますので、ご持参ください。よろしくお願いいたします。

レジ袋有料化（7月1日～スタート）に伴うご協力のお願い



全国のスーパーやコンビニなどの小売店では、プラスチック製買い物袋の有料化を義務付ける制度が始まりました。プラスチックごみが海に流れ出し、海洋汚染につながることを防ぐ対策の一つです。一人ひとりの取り組みがプラスチックごみを減少させることにつながりますが、レジ袋の有料化はわずかな減量にすぎず、追加の対策が必要とも言われています。

以前からエコバッグを使い、すでにこの活動に取り組んでおられる方も多いと思います。まだエコバッグを準備できていない方がこの対策に協力できるように、社協では自宅に使わないで眠っているエコバッグを回収し、必要な方へお渡ししたいと思います。

大きさの指定はありませんので、ご協力いただける方は、ぜひ社協へお持ちください。皆さんのご協力をお待ちしています。

問合先　桂川町社会福祉協議会（いきいきセンター「桂寿苑」内）☎65-2271 FAX65-4555

INTERVIEW

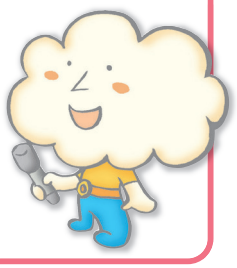
このひとに聞きました

やまもと　あきら
山本　章さん



プロフィール
◎年齢　78歳
◎住所　土師三区
◎趣味　水泳

■聞き手
谷口 裕司
今田 貴美子



「朝には希望を持って目覚め昼には精一杯活動し夜には一日に感謝して眠る」そんな一日をおくっているという、山本章さんに聞きました。

Q1 簡単な経歴を聞かせてください。

土師に生まれ、大学を経て、企業に就職。その後、ホンダ関連企業に移籍し、執行役員の任期を約1年半残して、母の介護のため桂川町に帰ってきました。

Q2 お母さんの介護で大変だったことは？

当時は大たい骨骨折の後遺症で歩行も困難な状況でしたが、リハビリで杖歩行ができるようになりました。

その後、デイサービスに通うようになってからは活気も戻り、百三才を前に天寿を全うしました。その間は介護者として、自宅でのリハビリ援助、通院介助など日常生活全般において支援を行いました。今思うと、母の介護に伴う自身のストレスとの戦いが大変だったかなと思っています。

Q3 現在地域でどのように活動をしていますか？

地域で活動している各種団体に所属。料理の会・在宅介護者の会・長谷山を愛する会などの監査役をしています。今はひざを痛めて登山は中止していますが、回復したら長谷山登山の再開を考えています。

Q4 今後の桂川町に期待することはなんですか？

筑豊をけん引する活気ある町になってもらいたい。そのためには福岡市までJRで三十分という地の利を活用して、将来を見据えた桂川駅付近の開発、ベッドタウン化が必須だと考えます。また、桂川町が売りにするものは、住みやすさだと思います。そのためには、商業施設・交通網の充実が課題だと認識しています。

Q5 最後に現役世代に贈る言葉は？

脚本家の倉本聰先生は、「尊敬できる人間を持っている人間が光るんです。尊敬される人間は別に光らないと書いています。この言葉の意味を味わって頂きたいと思います。

けい続は力なり

編集後記

コロナウイルスが世界中に広がり、人々は肺炎の不安におびえています。150年前にもペストが世界に流行しました。当時は医学が未発達で人々は神様にお祈りをしたり、占い師や祈とう師に厄払いをお願いして病気を防いでいましたが、神様にお祈りしても病気は治りません。現在では信じられないことですが日本でも同様のことが、50年ほど前まで行われていました。病気は病原菌や、栄養不足による体調不良が原因です。昔々は悪霊が取りついた、神の厄難にかかったと思い、厄払いをしたのです。

現在のコロナ禍は、人口増加、経済発展、交通の発達で瞬時に世界に拡がりましたが、世界には今でも神に祈りを捧げ、病魔を防いでいる人々がいます。これも幸せなことかもしれません。祈りにより心の平穏が得られるからです。入院治療で病気が治っても保菌者である不安、再発と死の不安などが残ります。現実社会で、悩める者にとって神様より頼りになるものは、信頼できる家族や隣人です。病気の時、家族の温かい一言が気持ちを明るくします。悩み苦しみは誰かに打ち開けると心が軽くなります。悩み事は人に相談しましょう。相談されたら神様になったつもりで真剣に聞いてあげましょう。みんな神様になれるのです。あなたも今日から神様ですよ。

広報部員　中村 寛



絵：河部 年枝
（笹尾一区）

サロン「ほっとスペース」メンバーに聞きました


2月から現在まで、サロンが開催できませんでしたが、サロンがみなさんの生活で、どんな役割を果たしていましたか?


サロンがあっていた日は、朝から化粧をして、お昼の弁当を作るなど「やること」があるので、生活にハリがあったなぁと実感しました。


知り合い同士で集まって、共通の話題で話せる場所が日常にあるのは、とても幸せなことだったんだなぁと…。


サロンでは、料理や手芸などいろいろなことを話していました。自分が苦手なことは、サロンメンバーの誰かが得意だったりするので、疑問や問題の解決場所になっていましたねぇ。


夏は涼しく、冬は暖かい環境で、楽しい時間を快適に過ごせてたんだなぁと。家は暑い!


まだサロンに入っていない人に、オススメのポイントを教えてあげてください。


お金を使わなくて遊べる!


コミュニケーション麻雀もできるので、男性にもオススメです!


一人暮らしの方など、同じ境遇の方と出会って共感しあえる場所です!


この年齢で、新しい友人ができるのはサロンならでは!同じ桂川の人だから会話も弾みますよ!


最後に一言


1日でも早く、サロンで遊びた〜〜〜い(^^)/

全員

※サロンは8月から再開しております。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金配分金の一部で作成されています。ご意見・ご要望をお寄せください。
社会福祉法人桂川町社会福祉協議会　TEL(65)2271　FAX(65)4555　メールアドレス：fukushi@keisen-shakyo.or.jp